

令和6年度外部評価委員会(R7.1.27)の意見等に対する対応

NO.	意見等	対応
1	ホームページやフェイスブックなど単独で設けることが必要。インスタやTikTokでの発信が必要。	Instagramについては、農業大学校単独で開設し、情報発信をR7.3からはじめた。 ホームページについては、組織上単独にはできないが、分かりにくい構成(複数階)であり、求める情報にたどりづなっていたため、階層や内容を整理した。
2	販路拡大などでインスタなどによる情報発信は重要であるため、授業の中でインスタなどの立ち上げなを学んではどうか	講師確保等の対応が必要なため、カリキュラム・シラバスの見直しの中で検討したい。
3	施設が新しい、きれいであることが重要なポイント。対応されているか。	【回答済み】 施設の建て替え検討の中で、抜本的な対応は困難。
4	農技センターとの合築の中で、高度な技術に触れる機会を作れないか	当該合築の検討にあわせて進めていきたい。
5	農技、普及、農大の連携を密にしてほしい	農技と普及組織には講義で協力をいただいているとともに、就農指導については連携して取り組んでいる。また、調査研究等でも連携を図るようにしているところ。継続して取り組んでまいりたい。
6	雇用就農が増える中で資格取得がされるよう指導してはどうか	これまで大特などの取得支援を行ってきたが、今年度は、さらに、ドローンやフォークリフトの大学校内での講習を実施した。継続して進めていく。
7	県外の学生も増えているので京都等近隣府県も含めたリクルートをしてはどうか	学校要覧等をさらに多くの県外学校にも送付を行っていききたい。
8	シラバスなどで学生が何を学ぶのか到達基準を明らかにし学生に事前に示しておくことが大切	シラバスを作成し、到達目標を記載しているが、配布時期が遅いため、早期に配布できるようにしたい。
9	教育体系を一見してわかる図を作成してはどうか	案を作成した。作成して活用を検討してまいりたい。
10	Wi-Fiが使えないので改善が必要	情報処理室のタブレットでは、Wi-Fiを使えるようにしている。また、今年度からは、ルーラル図書館を個人でも見れるようにしたところ。継続して改善を図りたい。 なお、Wi-Fiを完全にフリーにすることは、県情報政策課から(学生が)目的外使用しないようとの指摘があったため、制限している。
11	集落営農のオペレーター兼自身の経営があってもよい。対応できるよう就農科の窓口を広げてよいのではないか	現在の就農科の体制では、土地利用型のコースを設けることは困難と考えている。法人等での育成が基本と考えているが、中長期的な課題と認識して、継続して検討をしていきたい。
12	毎年プロジェクトに取り組んでおり、この魅力を発信していくことが大切	プロジェクト発表会の様子などはインスタグラムで魅力を発信した。個人名や内容等は公開することは難しいが、課題名の発表などできることを継続して検討したい。
13	農業高校と農大が早い段階でより深い連携することが必要	次年度以降、カリキュラムの内容等を含めて、さらに深い連携を図っていききたいと考えている。
14	畜産専攻は早朝や夜の作業があり、寮があるとよい	寮制度は困難であるが、畜産専攻の実習等のあり方については継続して検討していききたい。